

長野市芸術文化振興基金助成金 実施報告書

団体名	写団 M
事業名	第41回 『写団M』写真展

事業内容

- 目的
 - ・会員が自然の風景を対象にして、印象的な美しい場面を撮影し、その中から2~3点を展示する。
 - ・自然がもたらしている美しい場面を切り取って撮影し、多くの市民に鑑賞をしていただき、来場者からの感想や助言を参考にして、自らの写真撮影の向上を図る。
- 日時：令和6年5月16~21日（6日間）
- 会場：ギャラリープラザ長野
- 内容：会員の写真（全紙）の展示 36点
- 展示会のための会議：R6年1/11、2/8、3/7、4/4、5/9
- 作品搬入：5/15

事業の成果

- 来場者数 253名（6日間）
- 来場者感想
 - ・その場所へ行ったことがあるが、こんなに美しい場所だったのかと驚いた。
 - ・素晴らしい写真が多くあり心が癒やされた。という感想をお聞きし、会員は満足げであった。
- 上記の感想を受け、「今後感動していただく写真撮影に心がけたい」という会員の意欲ある意見が多かった。
- 講師の先生によるギャラリートークを実施した。講師の先生が、36点中20点ばかり取り上げてのギャラリートークをした。大変好評であった。

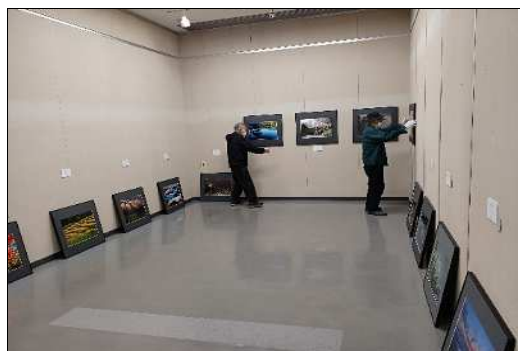
今後の取り組み

- 1年に1回の展覧会が41回という長きに渡ってきたが、会員の写真には格段の向上が見られた。自身の写真に対する撮影技術やものの見方等の力を更に発展向上させたい。「感動を与え、印象に残る写真撮影」を目指していきたい。
- 今年度も「写真の題名」について来場者から指摘された。今後更に研修をして学んでいきたい。

実施状況



(会場入口のポスター)



(写真搬入と飾り付け)



(作品を鑑賞している来場者)



(ギャラリートーク)